

- 問1 徳川綱吉が行った、武力による政治から学問や礼儀を重んじる政治への転換を何という？
- 問2 18世紀後半にイギリスで始まり、蒸気機関の改良で生産方式が劇的に変化した出来事を何という？
- 問3 1840年、清がイギリスと戦い、その敗戦が日本の外交政策にも大きな転換を迫るきっかけとなった戦争を何といいますか？
- 問4 名譽革命の結果、議会の権利を認めるために制定された文書は何といいますか？
- 問5 アイヌ民族が居住する地として知られ、明治時代に改称された現在の日本の地域を何という？
- 問6 朝鮮通信使の派遣を仲介し、日本と朝鮮の間の文化交流の架け橋となった藩を何という？
- 問7 マニファクチュアにおいて、労働者が手作業で効率的に生産するために行われた手法を何という？
- 問8 1792年にロシアの使節ラクスマンによって送り届けられた、ロシアへ漂流した日本人は誰？
- 問9 江戸時代、幕府が財政難を解決するために行った、古い貨幣を回収し、金銀の含有量を減らして新貨幣を作ることを何という？
- 問10 鎖国下において、日本が長崎での貿易を許可した相手国として、オランダ以外の国はどこ？
- 問11 江戸幕府が長崎貿易で清へ輸出した、俵物と呼ばれる加工海産物の代表例を何という？
- 問12 江戸時代後期、外国船の来航が増加したことで、幕府が国の守りを固めるために高めた意識を何という？
- 問13 江戸幕府が1639年に禁じ、南蛮貿易を終結させる決定打となった行為を何という？
- 問14 人間は生まれながらに自由であり、誰に対しても同じ権利を持つという概念を何という？
- 問15 薩摩藩の支配を受けながらも、琉球王国が独立した王国として朝貢貿易を続けていた相手国を何という？
- 問16 百姓一揆が頻発する背景となった、三大飢饉の名称をすべて答えなさい。
- 問17 江戸時代中期、商業の発展に注目し、その利益を税収として取り入れることで幕府の財政再建を目指した老中は誰？
- 問18 江戸時代、徳川吉宗が漢訳洋書の輸入制限を緩和したことで本格化した、オランダ語を通じて西洋の学術を研究する学問を何という？
- 問19 江戸時代に幕府や諸藩が奨励した、干拓や用水路の整備による耕地面積の拡大を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 文治政治	第5代将軍徳川綱吉は、儒教の一つである朱子学を推奨し、学問と礼儀を重視する「文治政治」を行いました。これにより幕府の権威を社会の隅々まで行き渡らせ、平和な社会の安定を長続きさせようと努めました。
問2	答え 産業革命	ジェームズ・ワットによる蒸気機関の改良が大きな転換点となり、手工業から機械を使った工場制機械工業へと移行しました。綿織物業を中心に生産力が飛躍的に高まり、交通機関や都市のあり方も大きく変わりました。
問3	答え アヘン戦争	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに対し、イギリスは武力を行使しました。近代的な兵器を持つイギリス軍に対し、清は圧倒的に敗北し、不平等な条約を結ぶこととなりました。
問4	答え 権利の章典	革命後に議会から出された「権利の章典」は、国王といえども法律を勝手に変えたり、議会の承認なしに税金を集めたりできないことを定めました。これは「法律による支配」の象徴的な文書であり、イギリスにおける議会民主主義の出発点となりました。
問5	答え 北海道	明治維新後、政府は北方領土の守備と開発を目的として「開拓使」を設置し、1869年にこの地を「北海道」と改称しました。これにより本格的な開拓が始まり、多くの移住者が本土から渡りました。
問6	答え 対馬藩	対馬藩は、専門の外交官を育成し、朝鮮側との難しい交渉を粘り強く進めることで、通信使の派遣を実現させました。通信使が持ち込んだ書籍や技術、知識は日本の文化を豊かにし、逆に日本の情報が朝鮮に伝わるなど、双方向の文化交流が発展しました。対馬藩はその実務を支える重要な役割を果たしたのです。
問7	答え 分業	マニファクチュア（工場制手工業）では、資本家が仕事場を作り、多くの労働者を集めました。一人の作業者が全工程を行うのではなく、作業を細かく分けて分業させることで、効率よく大量の製品を生産することが可能になりました。
問8	答え 大黒屋光太夫	大黒屋光太夫は伊勢の船乗りで、漂流の末にロシアへたどり着きました。ロシアで皇帝エカチェリーナ2世に謁見し、苦労の末に帰国の許可を得て、使節ラクスマンに同行する形で1792年に根室へ帰還しました。その貴重な経験は、ロシアの状況を知る資料となりました。
問9	答え 貨幣の改鋳	「貨幣の改鋳」とは、金銀貨に含まれる貴金属の量を減らして、同じ枚数の貨幣を大量に作る行為です。差額分を幕府の収入としました。しかし、流通する貨幣の総量が増えたことで通貨の価値が下がり、結果として米や日用品の価格が急騰し、民衆の生活を苦しめる原因となりました。
問10	答え 中国	鎖国政策が完成した後、幕府は長崎に限定して貿易を許可しました。キリスト教を広めないオランダと、中国（当時は清）のみがその対象でした。貿易を通じて、漢籍や医薬品などが輸入され、日本の学問や文化にも少なからぬ影響を与えました。
問11	答え いりこ	長崎貿易において、日本は金銀に代わる輸出品として「俵物（たわらもの）」を輸出しました。これには、いりこ（なまこを干したもの）、ふかひれ、干しあわびなどが含まれ、清（中国）で高く取引されました。
問12	答え 国防	国防とは、外部からの攻撃や脅威に対して国家を守る活動や態勢のことです。幕府は海防の必要性を認識し、沿岸の警備を強化したり、外国船の動向を調査したりする政策をとるようになりました。
問13	答え ポルトガル船の来航	1637年の島原・天草一揆を経て、幕府はキリスト教を厳しく弾圧しました。その一環として、キリスト教を広めるポルトガル船の来航を禁止し、1639年に南蛮貿易を完全に終結させました。
問14	答え 平等	フランス革命などを通じて、法の下での平等や、機会の均等が提唱されました。これは、個人の努力や能力に関係なく、誰もが同じ人間として尊厳を持ち、権利を有するという考え方です。近代社会において、言論の自由や私有財産権と並んで最も基本的な権利とされています。
問15	答え 中国（清）	江戸時代に入り、薩摩藩の支配下に入った後も、琉球王国は中国（清）に対して朝貢（貢ぎ物を捧げ、返礼を受ける貿易形態）を続けることが許されました。これは薩摩藩が中国との公的な貿易ルートを間接的に確保するため、あえて琉球の形式的な独立を維持させたためです。
問16	答え 享保・天明・天保	「享保」「天明」「天保」の飢饉は、江戸時代を代表する三大飢饉です。特に天明の飢饉では冷害が長引き、広範囲で餓死者が発生しました。米不足は価格の高騰を招き、農村では困窮した人々による百姓一揆や、都市部での打ちこわしが頻発しました。
問17	答え 田沼意次	田沼意次は、新しい時代を見据えて「株仲間」を積極的に公認しました。それまで禁止されていた商人の独占営業を認め、その代わりとして「運上金」や「冥加金」という形で税収を確保しました。
問18	答え 享保の改革	享保の改革は、米価の安定や目安箱の設置などが有名ですが、学問奨励の一環としてキリスト教に関係しない漢訳洋書の輸入を緩和しました。これにより、オランダ語を通じて西洋の知識を学ぶ蘭学が興りました。
問19	答え 新田開発	新田開発は、未開の地を開墾したり、干拓や用水路を整備して新たな田畑を作ったりする事業です。これにより、日本全体の耕地面積は飛躍的に拡大し、米の収穫量も大幅に増加しました。